

学校だより

10月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄

令和三年 九月三十日



今だからこそ、思いやりをもって

校長 吉野達雄

先日、日経新聞のコラム欄に白金小学校の食育・給食の記事が取り上げられました。その中で、「ぼたもち」と「おはぎ」の違いは？とありました。諸説あるようですが、どちらももち米を蒸したものに小豆のあんをからめたもので、季節によって呼び名が違います。春に咲くぼたんの花にちなんで「ぼたもち」、秋の七草の萩の花にちなんで「おはぎ」、同じものなのに面白いですね。インターネットで調べてみると、「こんにやくとしらたき」「つみれとつくね」も製造過程の違いはあるものの、ほとんど同じとありました。インターネットは、疑問に思ったこと興味をもったことをすぐに手軽に調べることができます。しかし、ネット情報のすべてが正しいわけではありません。調べもの際には、十分に気を付けてください。それは、本当なのか？と疑問をもつことが大切です。現在の情報化社会で生活していく上では、ICT機器を上手に使い、正しい情報を収集し、適切に活用する力が必要になります。

【タブレットや携帯電話の正しい使い方を教える】

国のGIGAスクール構想により、児童一人一台のタブレットの配備、ネット環境の整備がされ、授業の幅や可能性が広がりました。感染症対策として、家からオンラインで授業に参加することができるようにもなり、本当に便利な世の中です。一方で、タブレットを使ったはじめが問題になり、また以前から指摘されているSNSでのトラブルについても引き続き注視していく必要があります。私たち大人は、子供たちの活用状況を把握するとともに、機器の正しい使い方と言葉ひとつで人を傷つけてしまうことの恐ろしさを教える必要はないけません。学校で情報モラル教育を推進するのはもちろんですが、各ご家庭でもしっかりと話し合ってみてください。

今、子供も大人もコロナ感染症の影響で生活の制限が多く、心が疲弊しています。このような時だからこそ、心に余裕と他人への思いやりをもちたいですね。

地域の医師たちに学ぶ

主任養護教諭 大久保 美保

白金小学校では、毎年学校保健委員会で6年生が学校医や学校薬剤師さんたちを講師に招き、公開授業をおこなっています。

地域がら、医療関係の仕事に従事している保護者の方々も多く、子供たちの将来の夢も、保護者と同じように医療関係を目指したいと思う子供たちが多いようです。そんな中で、実際の医師たちから聞く講話は、子供たちの興味を大きくひきつけ、将来の自分の進路を考える、キャリア教育の一つにもなっています。

医師からの講話の中では、自分の生活を振り返るような問いかけもあります。「健康ってなんだろう？」「健康になるためには？」簡単に分かるようでも実は奥深い質問です。講話は短い時間ではありますが、真剣に考え想像する時間は、毎年、子供たちにとって有意義なものとなっています。

学校保健委員会 十月七日（木）五時間目 開催

※授業の参観をご希望の方は、事前にご連絡をください。

白金小学校
Twitter



学校HPからも
入れます。